

社協だより

泉区版

せんだい

人と地域を笑顔でつなぐ



点字版発行

点字版を発行しています。
ご希望の方は泉区事務所
までご連絡ください。



vol.14

令和4年4月1日発行

主な内容

特集

- 「ともに生き、支えあうまち」を目指して……………P2
- 赤い羽根共同募金
- 支えあいの仕組みとして福祉に役立てられています…P4
- 70周年記念企画 社協活動をふりかえる……………P5

泉区事務所からのお知らせ

- これからの仙台
- “ともに生き、支えあうまち”へ……………P6
- 備えておこう
- わが家の避難計画「マイ・タイムライン」……………P6
- 貸出します ご活用ください……………P7

今号の写真

宮城社会福祉センター主催

「おたがいさまの子育てサロン」

誰もが安心して子どもを育てられるよう支えあいによる地域づくりを目的に活動しています。

社会福祉協議会(社協)とは

「地域福祉の推進」を図ることを目的とした団体です。仙台市社会福祉協議会は「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念とし、地区社会福祉協議会や町内会、福祉団体・施設、ボランティア等の協力をいただきながら、行政機関等と連携して様々な福祉事業を進めています。



この「社協だより せんだい」は赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

特集

「ともに生き、支えあうまち」を目指して

「せんだい ai プラン」

（第5次地域福祉活動計画）について

地域福祉活動を推進するためには、地域住民が自分が住む地域の良いところ、あるいは課題となっているところ等に関心を持ち、気づき、そのことを皆で共有し、多くの住民の参加を得ながら行動することが大切であり、中長期的な視点で計画的に取り組むことが必要です。

本会では令和3年度から令和8年度までの6か年を期間とする「せんだい ai プラン（第5次地域福祉活動計画）」を策定しています。

せんだい ai プランとは

計画の基本理念

『ともに生き、支えあうまち』



～誰もが互いに尊重しあい、
孤立することなく、
自分らしく安心して
暮らせる地域をみんなでつくる～

せんだい ai プランは、地域福祉の主役はその地域に暮らす住民であることを基本として、住民主体の活動が目指すべき目標や活動の方向性を定めるとともに、本会がその住民による地域づくりのプロセスにどう関わり支援するかということについても盛り込んでいます。ぜひ、手に取り、ご覧いただき、今後の地域づくりの参考としていただければ幸いです。

4つの活動目標

本計画では、基本理念を実現するために、住民主体による4つの活動目標を定めています。

活動目標 1

身近な福祉課題に

気づく力を高める

気づく！

活動事例紹介

寺岡地区社会福祉協議会では、地域住民の『具体的な個人の困りごと』は、どうすれば見えてくるのかということについて検討し、「気軽に」「いつでも」要望を言える仕組みとして、地区内3つの集会所の前に「福祉ポスト」を設置しました。

ゴミ出しに困っている方の支援につながったり、町内会や防犯に関わる要望を各団体へつなげたりと、地域への要望全般からちよつと気になることまで、地域住民の声に気づくツールとして、また、コロナ禍で、非接触にてやりとりができるツールとして活用されています。



集会所前に設置されている「福祉ポスト」

活動目標 2

地域の課題や良さを

共有する場づくりを進める

共有する！

活動事例紹介

安養寺地区社会福祉協議会では、地域を構成する4つの町内会が継続的に集まり、ワークショップを通し、我が事として、地域のさまざまな問題について話し合い、共有する機会をつくりました。ワイワイガヤガヤと楽しく議論を重ねた結果、地区全体および町内会ごとに取り組む課題を決め、解決策を検討しています。



ワークショップの様子

活動目標3
解決のために行動する

行動する！

活動事例紹介

特定非営利活動法人FOR YOUにこに

この家では、地域の高齢者などの困りごとに対応するため、生活サポーターを募り養成し、掃除や外出の付き添いなどの訪問型家事支援サービスを有償で行っています。

地域の方によるサポートを受けながら、そして、ある時はサポートしながら、地域で暮らしていくための小さなつながり、支えあいを大切にした活動を目指し取り組んでいます。

掃除
窓ガラス磨き
換気扇掃除
電球交換等

洗濯・物干し
アイロンがけ

ベッドメイク
シーツ、布団カバー
交換等

調理
配下膳

買い物
乗受取
※交通費
100円

書類・郵便物の
確認、手続き
助言等

入院や
通院等の
付き添い
※タクシー
移動で病院付添
～4時間

散歩・買い物等
外出時の
付き添い

新聞・書類等の
代読、パソコン
操作

草むしり・
花木の
水やりなど
の園芸

FOR YOU にこにこの家が行う家事支援サービスの内容

活動目標4
一人ひとりの住民の

参加を推進する

住民参加！

活動事例紹介

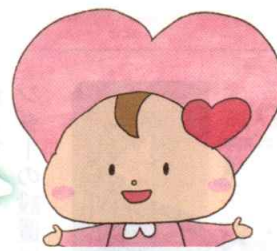
吉成学区社会福祉協議会では、「てらこや」と名付けた活動を行っています。町内会長、民生委員児童委員、市民センター、学校の先生や学校支援地域本部のスーパーバイザーの協力を得ながら、小学校の教室を会場に夏季・冬季の休みの期間中、小学校低学年を対象に地域住民が先生になり、学習支援を行ったり、紙芝居やけん玉など昔遊びを一緒に行ったりしています。かつて「てらこや」で学んでいた中学生もボランティアとして参加しており、将来の担い手育成にもつながる活動となっています。



「てらこや」における学習支援の活動の様子

活動計画推進の
応援キャラクター
aiちゃん

みんなて
aiをのびかせよう



第5次地域福祉活動計画
令和3年度～令和8年度

せんだい ai プラン
ともに生き、支えあうまち

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 検索

せんだいaiプランは、
本会ホームページから、
ダウンロードできます！

※ご連絡いただければ郵送でお送りすることも可能です。

連絡先: 223-2026 (地域福祉係直通)

幅広く計画のことについて、
知っていただきたくPR動画を作成しました。
是非、ご覧ください



シンボル
ムービー編



ストーリー
ムービー編①



ストーリー
ムービー編②

赤い羽根共同募金は 支えあいの仕組みとして 福祉に役立てられています

仙台市では、令和2年度赤い羽根共同募金として、76,688,228円の募金をいただきました。皆様からいただいた募金は、宮城県共同募金会を通じて、市内のさまざまな福祉活動に役立てられています。

共同募金の仙台市内における主な使いみち

見守り活動やサロン活動など
(地域福祉事業として仙台市社協へ助成)

28,061,291円



社会福祉団体に対する助成
(ひとり親家庭支援、難病救済支援活動、児童養護施設自立支援等)

9,058,000円



NPO団体や地域活動団体の
活動支援など

12,441,000円



社会福祉施設の修繕や
備品購入に対する助成

2,400,000円



赤い羽根共同募金は、じぶんの地域を良くする仕組みとして、皆様のご協力をいただいています。地域福祉の推進を目的とする本会としても、共同募金運動の支援や普及啓発を通じて、これからも地域福祉活動の推進に取り組んで参ります。引き続き、赤い羽根共同募金や地域福祉活動へのご協力をお願いします。

例えば

このような活動に使われています

錦ヶ丘ネット

枝豆やさつまいも等を苗から育て、収穫時期には錦ヶ丘小学校の体験学習を支援し、子ども達と地域住民が自然とふれあいながら農業と食の大切さを学んでいます。協働農園は、「こども、食、環境、世代を超えたつながり」をキーワードに、四季を通して「農」を楽しみ、自然とふれあいながらコミュニケーションを深める場所となっています。



南光台すいせん保育園

ホールの遊具に仲間入りした大型のソフト積木。やわらかくて軽いので、子どもたちだけで持つ、運んで、並べて、積めるんです。「こはみんなのおうち!」バスが発車しますよ!乗ってください!とイメージを形にしてあそび始めました。運動あそびでは、一本橋や階段、トンネルなどを作り、渡ったりくぐったりの動きを楽しんでいます。ソフト積木は、子どもたちのあそびを豊かにしてくれました。



ハートフルベンダーは飲料自動販売機を活用した「誰もが気軽に福祉活動に参加できる」仕組みです。企業・団体様の社会貢献活動のひとつとして、ぜひハートフルベンダーの設置にご協力をお願いします。

社会貢献いかがですか? 協力者募集中 ハートフルベンダー(自動販売機)設置

赤い羽根共同募金の運動は、多くのボランティアに支えられています。福祉活動を支える募金ボランティアにご協力ください。活動に必要な備品(肩掛け募金箱、のぼり等)は無償でお貸しします。



募金ボランティアセットについてのお問い合わせ

仙台市共同募金委員会
022-223-2142

インターネットでも募金ができます
共同募金運動期間(毎年10月1日~)によらず、いつでもどこからでも募金ができます。今すぐできる募金活動、どうぞご利用ください。



お問い合わせお待ちしております

ハートフルベンダーについての問い合わせ
宮城県共同募金会:022-292-5001



社協活動をふりかえる

地区社協支援のあゆみ

本紙では、令和3年に本会が創立70周年を迎えたことを機に、これまでの本会の歩みをシリーズで振り返ってきました。

今号では、地域福祉活動の基盤であり、住民主体による地域に根ざした活動を展開している地区社会福祉協議会(以下、「地区社協」)の組織化から、昨今のコロナ禍における活動支援まで、本会が行ってきた支援について振り返ります。

地区社会福祉協議会 設立に向けて

昭和30年代後半から、全国的に「住民主体」による地域福祉活動の推進の機運が高まり、本会においても、昭和43年度事業計画の重点施策に地区社協の設立を掲げました。職員が各町内会の会議に向いたり、町内会長や民生委員の皆様と協力いただき説明会を開催するなど、設立に向けた運動を積極的に展開し



社協結成懇談会風景
(社協だより第5号 昭和44年3月発行より)

ました。その結果、昭和43年度末には、14か所の地区社協が設立されました。

その後も本会では、一人暮らし高齢者を対象とした食事会や配食サービスを実施するための助成金の創設、家庭看護講習会やボランティア講習会などを開催するとともに、「社協だより」等で住民向けの広報活動を行い、地区社協の活動を支持してきました。



食事サービスの料理準備(上)
家庭看護講習会(下)

小地域福祉ネットワーク 活動の推進

平成8年度には、地域ごとに支援が必要な住民を支えていくためのネットワークを構築する「小地域福祉ネットワーク活動推進事業」の整備を進めました。

当初は、推進モデル地区・強化地区として11地区社協を指定し、安否確認活動のほか、ゴミ出しや草取り、雪かきなどの日常生活支援活動、広報活動や研修、一人暮らし高齢者の食事会、茶話会などの「ふれあいいきいきサロン」に助成し、実施にあたっては、各区の事務所に配置した地域

福祉活動相談員が、各地区社協への情報提供や活動内容についての相談、助言を行いました。

この「小地域福祉ネットワーク活動」は、地区社協の中心的な事業で、現在では104地区すべてに地区社協によって実施されています。



高齢者宅での雪かきの様子(平成8年)

地区社協支援の現在(いま)

さらに、平成25年度には、地域福祉の推進における新たな重点的取り組みとして、各区・支部事務所にコミュニケーションソーシャルワーカー(CSW)を配置し、地区社協をはじめとする地域の皆さんと一緒に、それぞれの地域の課題解決に向けた活動に取り組んでいるところです。

元号が令和となった現在では、コロナ禍においても地区社協の活動が途切れないように「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した小地域福祉ネットワーク活動のすすめ方」のリーフレットを作成し、地区社協関係者に配布したり、感染予防に必要なマスクやアルコール消毒液などを確保するための助成制度を創設するなど、継続して支援しています。

これからの仙台

“ともに生き、支えあうまち”へ

第5次地域福祉活動計画
(せんだい a i プラン)

令和4年1月31日、第5次地域福祉活動計画をテーマに地域福祉活動リーダー研修会を開催しました。地域福祉活動計画(せんだい a i プラン)とは、さまざまな団体が地域福祉の実践を行う上での目標や活動の方向性について記載した民間の活動・行動計画です。

4つの活動目標

第5次地域福祉活動計画では4つの活動目標を定めています。その内容について、実践例を通してお話ししました。

1 身近な福祉課題に気づく力を高める
実践例 (泉区)寺岡地区社協の福祉ポスト

2 地域の課題や良さを共有する場づくりを進める
実践例 (宮城野区)安養寺地区社協のワークショップ

3 解決のために行動する

実践例 (太白区)特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家の訪問型家事支援サービス

4 一人ひとりの住民の参加を推進する
実践例 (青葉区)小松島地区社協のお出かけ情報誌

「みんな」が担い手!

活動計画の副題となっている「ともに生き、支えあうまち」を作るために、地区社協、町内会等の地域団体、NPO・ボランティア団体、店舗や企業、福祉事業者、行政や関係機関、そして一人ひとりの地域住民が「みんな」で地域づくり、まちづくりを進めていくことが大切だということを、地区社協のみなさんと確かめました。

第5次地域福祉活動計画について詳しく知りたい方は左記QRコードから本会ホームページをご覧ください。また、地域活動の進め方についてお悩みの方はお気軽に本会泉区事務所までご連絡ください。



研修の様子

仙台市社協ホームページ
第5次地域福祉活動計画

備えておこう

わが家の避難計画「マイ・タイムライン」

防災意識を高めよう

令和4年2月2日、小地域福祉ネットワーク研修会を開催しました。東日本大震災から10年以上が経ち、改めて防災について考えるため、仙台市危機管理局より「大雨災害に備えて」作ってみよう!マイ・タイムライン」と題し、お話いただきました。

マイ・タイムライン

「マイ・タイムライン」とは風水害に備え、家族や生活環境に合わせて、あらかじめ作成する自分自身の避難計画です。自分の住んでいる地域はどんな災害がどのレベルになったら危険があるのか。その際にどういう行動をとれば良いのか。家族がバラバラな時、どのように連絡を取り、どこに集合するのか。自分がなんとなく思っているだけではなく、家族内で共有されているでしょうか。

また、非常持ち出し袋等、いまの家族環境に応じた、持ち出しリストは考えてあるでしょうか。

昨年5月に避難情報の名称が変更されました。改めて防災・減災について考えてみましょう。

マイ・タイムラインの詳細や様式は

左記QRコードから仙台市ホームページをご確認ください。

「いざ」のために
「ふだん」が大事

また、いざというときには近所の助けあいが必要。そのためには、普段からの顔の見える関係づくりが欠かせません。日頃からの関係づくりに取り組んでいる地区社協の方々からは、配布されたハザードマップには載っていない、内水氾濫や、垂直避難についての課題など、取り組みを実践しているからこそその悩みが共有されました。地域の防災意識を高めるための、良い機会とすることが出来ました。



研修の様子

仙台市ホームページ
わが家の避難計画
「マイ・タイムライン」

貸出します

ご活用ください



ボッチャ

ハーフコートや練習用の的もあります



泉ヶ丘地区社会福祉協議会の様子



桂ボランティアの会の様子

カードゲーム



「お嫁さんあるある」のカルタ



詐欺等の撃退方法を遊びながら学ぼう

防災方言カルタ

防災ネタを方言で



はあはあ言うゲーム

最近、テレビでよく取り上げられるあのゲーム。演技力が試されます

コミュニケーション麻雀



神経衰弱やクレーンゲームなどの遊び方も

拳より大きい牌と長机3台分の卓で行います。向かいの牌に手が届かないので協力が大切

助け合いゲーム



様々な立場で、できること、助けてほしいことを考えます

おならカルタ

全部の札がおなら関連(笑)



その他の貸出物品

福祉学習用具

●車椅子 9台 ●白杖 52本 ●福祉紙芝居 9種類

お祭り・防災用具

●炊き出し用大鍋 8台 ●テント 7張 ●掲示用パネル 14枚

印刷機

ボランティア登録団体は無料で使えます。用紙はご持参ください。

興味のある方は、お気軽に下記までご連絡を♪

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 泉区事務所

泉区ボランティアセンター
泉区権利擁護センター(まもりーぶ仙台)
支えあいセンターいずみ

〒981-3131 仙台市泉区七北田字道48-12 仙台市泉社会福祉センター内
TEL: 022-372-1581(代表) FAX: 022-372-8969
E-mail: izumi@shakyo-sendai.or.jp
業務時間: 月～金曜日(祝祭日・年末年始を除く) 8:30～17:00
障害者相談支援事業所ふらっと泉 TEL: 022-771-2728
業務時間: 火～日曜日 8:30～19:00(祝祭日の翌日・年末年始除く)



福祉プラザの調理実習室を 利用しませんか？

福祉プラザの貸室にはホールや研修室以外に、調理実習室や大広間などの部屋があります。

今回、調理実習室のご案内を兼ねて仙台市知的障害者関係団体連絡協議会（通称「仙団協」）の「料理教室」の様子をご紹介します。

仙団協では、知的障害のある方が参加するレクリエーション事業「料理教室」を開催しています。教室では、季節の食材を使い、参加者に「食べたいものアンケート」ととして、講師がレシピを考えます。

全員で調理し、できあがった料理は、みんなで美味しくいただきます。

最近では、炊き込みご飯や油麩の味噌汁を作りました。ちらし寿司やガレット等、食べたいものにもチャレンジしています。



みんなでやると
面白いね



部屋、設備を見学することもできます。

参加者からは、「部屋は広いし、感染対策されているから安心」「場所がわかりやすく、通いやすい」「ここに来ると、なんか楽しい。部屋も使いやすいしね。」との声が聞かれます。利用は個人でも可能ですので、ぜひ、ご利用ください。

調理実習室のご案内

- 設備等
調理台、ガスコンロ、冷蔵庫、電子レンジ、電気炊飯器、フライパン、鍋、包丁、皿、箸など
- 利用定員 17名
- 利用時間・料金
午前9時～午後9時30分
一時間あたり850円（冷暖房料は別）
- 所在地
青葉区五橋2丁目12番2号
※地下鉄五橋駅から徒歩二分
- 問い合わせ先
福祉プラザ管理課
電話 213,623,37

つながるひろがる支え合う地域づくり

社協会員加入のお願い

仙台市社会福祉協議会は、皆様からいただいた会費を地域において支援が必要な方に対する助け合い活動などに活用し、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めています。

ぜひ、趣旨にご賛同いただき、社協会員にご加入いただきますようお願い申し上げます。

会員の種類と会費（年額）

- 普通会費（個人・または世帯）…………… 300円以上
- 普通会员（社会福祉施設）…………… 1,000円
- 普通会员（福祉事業者・団体）…………… 3,000円
- 特別賛助会員（個人・または世帯）…………… 1,000円以上
- 法人会員…………… 10,000円（一口）

活動事例

市内104か所に地区社会福祉協議会が設置され、町内会や民生委員児童委員と福祉委員等が協力しながら、地域の実情の応じた福祉活動を展開しています。コロナ禍でも感染予防を徹底し、支援が必要な方の見守り、サロン活動などを実施しており、いただいた会費はこのような活動の財源に使わせていただいています。



心温まるご寄附をありがとうございました

（令和3年11月1日～令和4年2月28日 順不同・敬称略）

寄附金をいただいた皆様

- 日本設備工業株式会社東北支店 支店長代行 足立篤史
- 協業組合仙台清掃公社 理事長 山田政彦
- たんぽぽ会
- 株式会社昭和羽前建設工業 代表取締役社長 甘木広志
- 仙台青葉ロータリークラブ 会長 亀田 治
- 公益社団法人 日本舞踊協会宮城県支部 支部長 水木歌泰
- 鳳禮匠会 代表 高橋けさみ
- 橋爪商事株式会社仙台支店 支店長 水野孝志
- 愛子歩こう会
- 今村 茂
- 矢口 敏昭
- 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社
- 県営七北田住宅自治会

- 上町老人クラブ愛寿会 代表 天野定郎
- アルプスアルパイン株式会社仙台開発センター
- 有限会社ハーバーコーポレーション 亞呉屋EDEN店、亞呉屋仙台本町店
- 株式会社小川真功商店 取締役社長 小川正勝
- 手作りサークル 代表 小林啓子
- 郷六社年会 会長 安達和郎
- 匿名 個人3件、団体1件

寄附物品をいただいた皆様

- 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会 会長 阿部一彦
- 能美防災株式会社東北支社 支社長 嶋宮浩栄
- 野村不動産株式会社 仙台支店 支店長 根本 肇
- 協林工業株式会社
- 林 春江
- 匿名 個人5件、団体1件

発行 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目12-2 仙台市福祉プラザ6階
TEL:022-223-2010(代表) FAX:022-262-1948
E-mail:hureai-net@shakyo-sendai.or.jp

お楽しみに!

次回予告 社協だより せんだい 第15号 令和4年8月1日発行予定

ホームページはこちら

仙台市社協

検索



YouTube「せんだい社協チャンネル」

動画配信ははじめました。

